



ロータリーと保健

ロータリーは、その巨大で国際的な草の根ネットワークを通じて、十分な医療が受けられない人々の健康を脅かす様々な健康上のリスクに取り組むため、全世界で地域社会に根ざしたプロジェクトを率先して実施しています。

ポリオ撲滅

- 1985年、ロータリーは、世界でポリオ撲滅を目指すロータリーの主要プログラム、「ポリオ・プラス」を発足しました。
- 1988年、ロータリーは、世界ポリオ撲滅推進計画を主導するため、世界保健機関(WHO)、米国疾病対策センター(CDC)、国際児童基金(ユニセフ)と協力関係を結びました。この世界ポリオ撲滅推進計画は、公共機関と民間組織の協力として前例のないものであり、ポリオの感染を99パーセント以上も減らすことに成功しました。
- 2009年、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から、ロータリーに対し、ポリオ撲滅を目的とする3億5,500万ドルの補助金が授与されました。これを受け、ロータリーは、今後3年間に独自に2億米ドルを募金し、この補助金に上乗せすることを約束しました。今回の補助金は、ゲイツ財団がこれまで提供した補助金の中で最も高額のものであり、ポリオ撲滅という目標へ向けた、ロータリーのビジネスモデルに基づくアプローチが高く評価されたことを物語っています。
- 20億人近い世界中の子供たちに予防接種を行うため、ロータリーは8億米ドル近くを寄付し、無数のボランティア活動を行ってきました。ポリオ撲滅に対する貢献は、民間部門による世界の保健推進活動に対する支援としては、史上最大のものとなっています。

ロータリー・クラブは、ポリオ撲滅活動に加え、保健医療や医療品の提供、HIV/エイズの予防と治療、世界のマラリア発生地域でのマラリア根絶活動など、保健問題に幅広く取り組んでいます。

その他の保健プロジェクトの例

- ドイツ、オーストリア、ナイジェリアのロータリー・クラブは、妊婦の死亡率を減らすための包括的なアプローチの必要性を認識し、ナイジェリアのカヌ州とカドゥナ州において、120万ドルの試験プロジェクトを開始しました。このプロジェクトは、500万人の妊婦の健康を改善し、産科フィスチュラ(陣痛が長引くことにより女性が慢性的に排泄のコントロールを失い、その多くは死産をもたらす疾患)を予防、治療することを目的としています。
- インドのコインバトール・ギャラクシー・ロータリー・クラブは、同国の青少年・スポーツ省大臣であるネール・ユーラ・ケンドラ氏の協力の下、エイズ認識キャンペーンを実施しました。キャンペーンでは、10キロメートルのラリーが行われたほか、大学生3,000人とアーティストのグループが、町中の市場でダンスや演劇の路上パフォーマンスを行いました。
- イタリアのナルド・ロータリー・クラブは、イタリアとハイチの財団およびハイチ・ロータリー・クラブと協力して、ハイチでのマラリア・プロジェクトの第1段階を実施しました。同クラブは、15,000服のマラリア予防薬を製造、配給し、財団の援助の下、現地へ赴き、政府の規制を満たし、プロジェクトに対する現地の人々の信頼を得ました。